a の近くに点 c を取り，a を中心，$|c-a|$ を半径とする円 K を描く．c を a の十分近くに取ることで，K およびその内部は D に含まれるとしてよい．K は c を始点・終点とし，正の向きを与える．基点 b から c へ向かう曲線 L を任意に取る．閉曲線 LKL^{-1} あるいは LKL^{-1} で与えられる基本群 $\pi_1(D,b)$ の元を，a に関する $(+1)$-閉曲線（モノドロミー）と呼ぶ．γ を $a \in S$ に関する $(+1)$-閉曲線とすると，$n(\gamma,a)=1$ および $n(\gamma,a')=0$ $(a' \in S \setminus \{a\})$ である．ただし γ がこの回転数の条件をみたしても，a に関する $(+1)$-閉曲線であるとは限らない．

この定義により，a に関する $(+1)$-閉曲線は互いに $\pi_1(D,b)$ において共役である．実際，a に関する 2 つの $(+1)$-閉曲線 $\gamma=[LKL^{-1}]$ と $\gamma'=[L'KL'^{-1}]$ については，$\mu=[L'L^{-1}]$ とおくと

$$
\begin{aligned}
\mu\gamma\mu^{-1} &= [(L'L^{-1})(LKL^{-1})(LL'^{-1})] \\
&= [L'KL'^{-1}] \\
&= \gamma'
\end{aligned}
$$

となる．